ヴァイオリニストTAIRIKの戯言

〔第41回〕

弦が揺れると、僕は季節の風になる

文 佐田大陸 Text by Tairik Sada

ヴァイオリニストあるある（2）

本日は以前書いた「ヴァイオリニストあるある」第二弾ということで、前回よりマニアックな内容を、お届けしたいと思います。意見には個人差があります。

《その①》練習場所をカラオケBOXにしがち

出先で練習室はなかなか見つかりません。たまたま見つけても、結構値が張ります。そこで1番重宝されるのが、カラオケBOXです。もちろん音量ミュート、テレビOFF。間違って受付の近くに部屋をあてがわれると、ジロジロと覗き込まれます。

《その②》家探しに難航する

実はヴァイオリンを弾ける物件は意外にも少ないのです。学生用の音楽マンション以外では、探すのにとても骨が折れます。アップライトピアノがOKでもヴァイオリンは基本ダメです。グランドピアノと同等の条件でないと入れませんので、探すのに一苦労です。今まで、楽器OKにもかかわらず、トラブルになった事もあります。

僕が行き着いた結論は「造りのしっかりしたマンションを選び、隣人と仲良くすること」です。場所によって音の通りは全然違います。隣人ははっきり言って運なので、入居するまで分かりません、博打です。

《その③》マンガやイラストのヴァイオリンの描写が気になる

漫画やイラストのヴァイオリンの描写は結構びっくりする程適当なのが多いです。弓と楽器を持つ手が逆だったりします。ちなみに余談ですがチャップリンは逆でも弾けたみたいです。

《その④》ゆっくり練習しようと思い、意気揚々と始めるが、結局早くなって元のテンポになっている

練習あるあるです。あまり上手くなりませんので、注意が必要です。

《その⑤》E線がひっくり返るモードに突入する

弦を移弦した時に、時々E線の開放弦がひっくり返って「キー」という音がでます。原因ははっきりしていません。不思議なことにひっくり返ってしまう時期は癖になってしまいます。

《その⑥》エセウクレレ

ポロンポローンと、楽器をウクレレのように弾き始めたヴァイオリニストがいたら、非常に陽気な気分なのか、疲れて練習をやめたいかどっちかです。

最後に、あるあるではありませんが、しずかちゃんにワンポイントアドバイスをしたいと思います。

しずかちゃんが、ヴァイオリンが下手な理由。おそらく松脂のつけ過ぎでしょう。そして弦に弓の圧力をかけすぎです。腕の力を抜いて、鏡を見ながら弓の角度に気をつけてください。

そして練習が終わったら、楽器を愛情を持って拭き、弦にこびりついた松脂も丁寧に拭いてあげましょう。

ということで、また別の角度でそのうちまた書きたいと思います！

好評発売中！
「JITAN CLASSIC」
JITAN 時短 CLASSIC

profile

2010年3月に桐朋学園大学音楽学部大学院を修了。
2ヴァイオリンとピアノのアンサンブル・ユニット「TSUKEMEN」のヴァイオリニストでリーダー。
2010年キングレコードからメジャーデビュー。
結成9年目にして450本以上の公演を海外や日本全国各地で開催、現在までにのべ35万人を動員している。